

【様式 1】

赤字で記載している留意事項、説明文等を削除のうえ、
本様式に直接入力して作成してください。

令和 7 年度戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業 構想調書

法人名：△△大学法人△△ 大学名：○○○○大学
(担当者) 氏名：***** 所属・職：○○大学△△課長
電話番号：012-345-**** E-mail：***@**.ac.jp

(1) 取り組みの対象テーマ

以下 2 つのテーマのうち、どちらについて取り組むか○を付けること。

取組テーマ		観点 2：社会実装・イノベーションの推進
		観点 3：地域貢献の強化

(2) 提案する取組の概要と詳細（戦略的大学改革ビジョン）

(1)－1. 取り組み概要

本交付金を活用した取り組みの概要を 2～3 行で簡単に記載すること。

(1)－2. 取り組み詳細

本交付金を活用した取り組みについて、ポンチ絵等により詳細に記載すること。

この際、本取組に係る連携機関について、以下の表に、機関名および役割分担を記載すること。

連携機関名	役割
例) ○○大学	...

(3) 提案する取組により想定される効果

本取り組みにより、(1) に示したテーマでどのような効果が期待されるか、またそれぞれの効果を測る指標としてどのようなものが想定されるか、それぞれ明確に記載すること。

(4) 提案する取組の具体的な内容と実施計画

本交付金を活用した取組の具体的な内容およびその実施計画を、大まかなスケジュール感がわかるように記載すること。

実施計画は令和 7 年度から令和 9 年度までの 3 年間を年度ごとに分けて記載すること。

進捗を図るための KPI も明記すること

(5) データ提供体制について

本取り組みを進めるにあたり、指標データを取得・提供する体制について記載すること。

(6) 実施体制（連携体制、ガバナンス体制）について

本取り組みを進めるにあたり、連携機関を含む実施体制について記載すること。

(7) その他

ベンチマークとなりうる国内大学について記載すること。

（全体に係る留意事項）

- ・ それぞれの項目について、具体的かつ簡潔に記載すること。
- ・ 補足説明用に図表、グラフ、ポンチ絵（A4 サイズで印刷した際、文字が見えやすい大きさとする
こと。）を作成、添付することは妨げないが、それも含めた構想調書全体として A4 で 5 枚以内
とすること。
- ・ 採択後、本構想調書は公表されることを考慮し、掲載する情報を整理・把握しておくこと（公表
前に具体の企業、個人名、契約締結やその金額等の機微情報を修正、削除する機会はあるが、そ
の際に修正・削除部分を適切に判断できるようにすること）。

（書式等に係る留意事項）

- ・ フォントサイズは 11 ポイント以上とし、書体は明朝体（英数字は Century）で統一すること。
- ・ ページが複数となる場合は、総ページ入りのページ番号を入れること。